



シンガポール日本人学校 中学部グローバル教育の紹介 THE JAPANESE SCHOOL SINGAPORE Secondary School immersion education



【グローバル クラス】

『THINK GLOBALLY, ACT LOCALLY』～ このクラスでは、「語学力」と「発信力」を合わせて「グローバル」と呼び、世界で活躍できる力を持った生徒を育てることを目指しています。(グローバルとはグローバル〈地球規模〉とローカル〈地域〉を合わせた造語です。)

主な取り組み:

- ◇ 英語の授業を強化して、英語を着実に身に付けます。
- ◇ イマージョン活動(英語を使って行う学級活動)を通して、自然に英語に触れる機会を増やします。
- ◇ 理科や数学も英語で学ぶ授業があり、専門的な内容も英語で理解できる力を育てます。
- ◇ 「国際教養ゼミ」(Liberal Arts)では、外部の人と交流しながら、広い視野を持つ学びをします。
- ◇ オーストラリア・パースへの語学研修もあり実際に海外で英語を使い現地校で学びます。

以上の取り組みは、あらゆる問題に、世界のあらゆるものについて広い視野で物事を考え、社会でよりよく生きるために行動することを目指しています。

○「国際教養ゼミ」(Liberal Arts)

これまで教養として学んできたことを教科の壁を越えて他者と議論・協働することで、21世紀を生き抜くための思考力・



発信力を養います。講義はシンガポール人講師のもと、英語で受講し、英語と日本語を使いながら協働学習で深く思考をし、それぞれの言語で論文作成、発表、ディスカッション等でアウトプットができるようにします。

このゼミは、年間20回以上実施し、最終ゼミでは、学年ごとにグローバルクラスの発表会を行います。

また、グローバルクラスでは英語を使った取り組みを充実させるために、NUS High School of Mathematics and Scienceとの交流、Duke-NUS訪問、Global Link (GLL) Program参加、NTU(南洋理工大學)やNUSへの訪問があります。

令和7年度 活動内容

1年『SDGs / Global Citizen』

2年『Project Based Learning for SJSS / CELSCA』

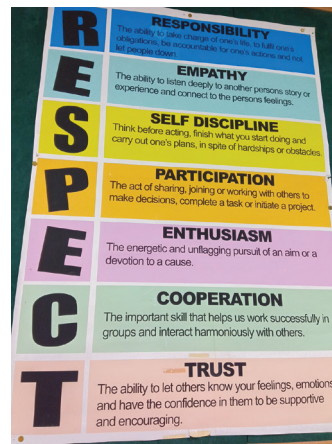
3年『Global Exchange for SJSS / CELSCA』

～本校グローバルクラス特別授業

「国際教養ゼミ」Liberal Arts planより

○「国際教養ゼミ」の様子

「国際教養ゼミ」の講義は金曜日の6時間目終了後に、各学年のグローバルクラスにおいて行われるゼミです。生徒が互いの意見を尊重しながらも、主体的に専門分野を深く学びます。



グローバルクラスにある教室掲示

✿英語で話す環境を創るために

✿7つの目標をRESPECTに込めて

○パース語学研修

グローバルクラスでは、海外留学を視野に入れた教育プログラムの一環として、オーストラリア・パースでの語学研修を実施しています。この研修の目的は、ホームステイや現地校での学習を通じて、シンガポールや日本とは異なる文化を体験し、「グローバル(グローバル ローカル)」な視点を育むことです。また、プログラムでは、様々な体験を通して、オーストラリアの人々の暮らしや価値観に触れることができます。

研修では、ホームステイによる現地の家庭生活の体験、現地校での授業参加、同年代の生徒との交流を通じた異文化理解などを体験します。



Foundation Christian College in Australia



校庭で



体育館で



講義



授業



ホームステイ



オーストラリアの空



Kangaroos

○3年生 NUS High School of Mathematics and Science (NUSH)との交流会

この交流会は、地域の学校との交換留学として、本校のグローバルクラスの生徒を対象に行われています。

交流会の目的は、現地の生徒と交流することで、実際に使える英語力を身に付けます。併せて、NUSHの生徒もまた、日本の学校でどのような授業が行われているかを体験します。交流は4日間あり、2日間は本校で授業等の活動に参加し、2日間はNUSH校での授業に参加するという流れになっています。

○イメージ教育



イメージ教育の一環として、「理科」の授業の様子をご紹介します。授業は、IEティーチャーによって英語で行われています。

Theme“Homologous vs. Analogous”

◆ Homologous: Body parts have a similar structure but different functions.

◆ Analogous : Body parts perform the same function but have different structures.

相同器官 (Homologous) : 形は似ているけれど、働きは違う体の部分である。

相似器官 (Analogous) : 働きは同じだけど、形や作りが違う体の部分である。

～英語と日本語で書かれた「授業(理科プリント)」から

○3年生とNUSH交流の様子



6時間目に体育館で行われた、合唱の練習の様子です。3学年が体育館前方に、そして中ほどにNUSHの生徒、その隣には本校2年生が見学をしました。3年生から、9月に実施される獅和祭での合唱が披露された一場面です。

○日本を紹介

グローバルクラスの生徒からNUSHの生徒へのプレゼント



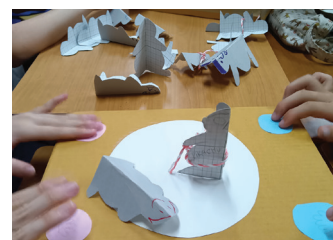
Kendama



Fukuwarai



Card games



Paper sumo

【イマージョン教育】

(全学年・全クラスにおいて実施)

○イマージョン授業

英語によるイマージョン教育を全学年・全クラスにおいて実施しています。主に音楽、美術、家庭科、保健体育の4教科において行われており、これらの授業では英語を第二言語として、自然な形で「聞く・話す・読む・書く」のインプットとアウトプットを身に付けられる環境が整えられています。つまり、英語に浸った状態で学習することにより、言語習得を促進しています。本校では、こうした授業スタイルが20年以上にわたり継続されています。



音楽



保健体育



美術



家庭科

○English Homeroom

全学年・全学級において、学級活動の一環として、IE ティーチャー（英語で教科を教える教員）が順番に各クラスを訪問し、「English Homeroom（英語によるホームルーム）」を行っています。この時間はすべて英語で進行され、生徒たちは日常的に英語に触れる機会を得ています。English Homeroomは各クラスで計画的に設定されており、IEティーチャーが使用する英語、生徒が使用する英語、英語で書かれた日課黑板（翌日の予定表）などが含まれます。

また、IEティーチャーから出されたテーマについて、デイリーライフ（連絡帳）に英語で記述する課題もあります。課題は翌日IE ティーチャーに提出し、その日のうちに英語でコメントが添えられて返却されます。書いて表現することで、英語によるコミュニケーションの良い機会となっています。



English HR 2-1



English HR1-1



English HR 1-2

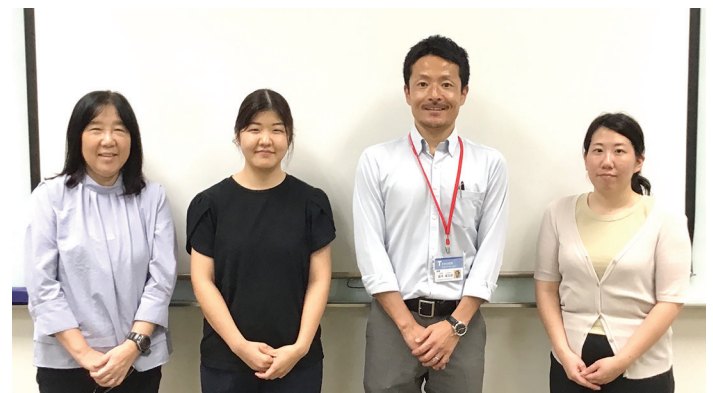
★おわりに

イマージョン教育は、本校の教育プログラムの一つとなっています。また、各学年がメインストリーム（今年度は5クラス）とグローバルクラス（1クラス）で構成されており、学校行事や委員会活動など、様々な教育活動を行っています。日本人学校において、日本の教育課程を実施し、その一環としてイマージョン教育を行う目的は、シンガポールならではの国際感覚にあふれた学びを融合させ、将来世界で活躍できる人材を育成することです。

本校中学部の生徒は、明るく元気で、広い視野をもって考える力を備えています。生徒一人ひとりが、日本人学校で過ごす限られた時間と、ここで出会った友人を大切に、たくさんのことを学んでほしいと願っています。そして日本人学校で過ごした後も、日本中、あるいは世界中に広がる仲間との出会いを大切にしてほしいと思います。

頑張れ、ジャパ中学生！

文責・写真：杉原美和、相原志保、鈴木俊太郎、堀内翔子
シンガポール日本人学校中学部 編集部



(左から)杉原美和教諭、相原志保教諭、鈴木俊太郎教諭、堀内翔子教諭